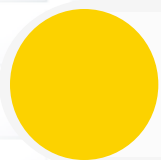


2013年度事業報告

特定非営利活動法人
多文化共生センターきょうと

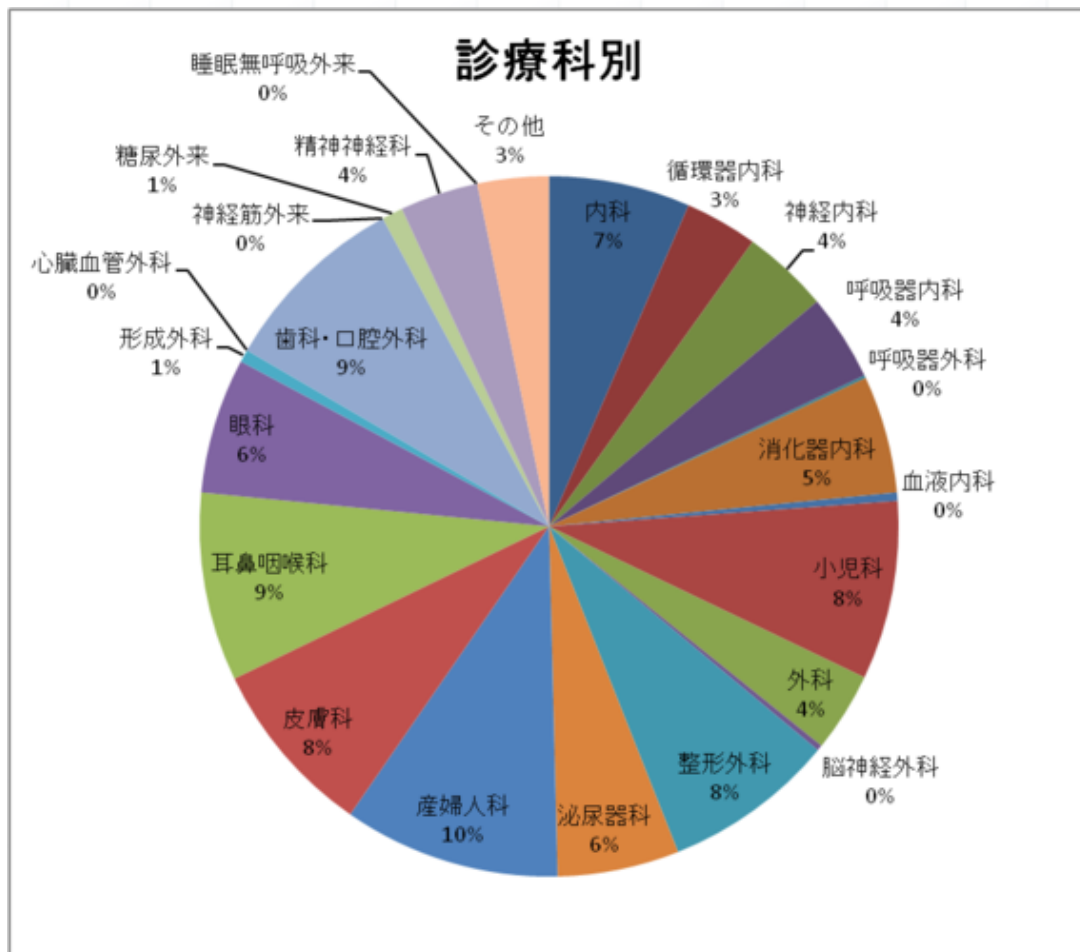




ことさぽ

1) 京都市医療通訳派遣事業

診療科別通訳利用件数
全1578件(昨年1449件)



病院別派遣実績

医仁会武田病院	1171件
京都市立病院	349件
康生会武田病院	4件
桂病院	24件

言語別 内訳

中国語	1223件
英語	335件
ハングル	0件



ことさぽ（多文化通訳派遣）

2) 多文化通訳派遣事業

派遣実績：8件（のべ11回）

＜言語＞

中国語：4件

ポルトガル語：1件

フランス語：1件

スペイン語：2件

＜内容＞

医療：6件

検診：1件

アテンド：1件

まとめ

発生件数は多くはないが、有償のサービスのため、特に医療の分野においてはどの通訳も深刻な内容のものが多い。

また、今年は「必要としているのは医療者、費用負担は患者」という状況での、医療機関からのお問い合わせが多くあった。当然、患者は通訳を依頼しない。医療通訳の費用負担は長年の課題であり、個々の医療者のスタンスをすぐに変えることはできないが、医療機関が自分たちのために医療通訳が必要、という意識をもってもらえるような取り組みも、長い目で考えていなくては行けないと感じている。（前田）

さぽひと

1) 第4回医療通訳を考える全国実践者会議

医療現場におけることばの問題に取り組んでいる行政、国際交流協会、NPO、医療関係者、通訳者などが集まり、医療通訳における課題の共有や解決に向けた議論を行った。第4回目は、医療通訳や外国人医療に関わる国内外の注目すべき潮流である「医療通訳認定制度」「医療通訳の質」などをテーマに取り上げ、医療通訳の今、そして未来についてさまざまなテーマで議論を行った。

日時：2013年12月15日（日） 時間：10：00～17：30 場所：関西医科大学枚方学舎

参加人数：116名

主催：特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと
関西医科大学 医学部公衆衛生学講座

内容：全体会「移民国家はいかに通訳認定制度をつくったか？」
医療分科会「多様化する医療の現状と展望」通訳分科会「医療通訳の質を考える」
ワークショップ「医療通訳制度」「通訳者」「医療」

報告書の発行：100部（2014年4月発行）





2) 京都市医療通訳派遣事業 (現任研修・養成講座・選考会)



医療通訳者現任研修

日時：2014年2月17日（月） 14：15～17：30 参加人数：10名

会場：医仁会武田総合病院別館 3F 多目的ホール

内容：医療知識（小児、眼科）、通訳ロールプレイ、交流会

京都市医療通訳養成講座

日時：2014年1月12日（日）～13日（月・祝） 参加人数： 24名

場所：京都市国際交流会館

京都市医療通訳事業選考会

日時：2014年1月26日（日） 10時～17時

場所：京都市国際交流会館

参加者（採用者）：中国語4名（1名） 英語3名（1名）



京都市医療通訳派遣事業10周年フォーラム

日時：2013年12月14日（土） 13時30分～17時

場所：京都市国際交流会館

参加者： 65 名

鼎談：医療通訳事業の10年を振り返って

鶴田光子（特活）多言語リソース社会かながわ理事）

濱屋伸子（公財）京都市国際交流協会

重野亜久里（特活）多文化共生センターきょうと

山本蘭（中国語医療通訳者） 山本香（英語医療通訳者）

医療通訳事業を利用者の視点から語る

里野英樹（医仁会武田総合病院病院コーディネイター）

藤原葉一郎（京都市立病院 産婦人科部長）

事業利用患者さん

表彰式 16:45～

副市長から表彰状を贈呈





さぽひと

3) 滋賀県多言語医療通訳ネットワーク

新人通訳者研修・通訳者の評価

2014年4月より公立甲賀病院で勤務するスペイン語の医療通訳者の追加募集に伴い、研修・通訳者の評価を行った。（この評価を参考に、病院が面接を行い、採用者を最終的に決定）

＜日時＞

2014年2月15日（土）10:00～15:00 第1回 医療通訳の基礎1

2014年2月16日（日）10:00～15:00 第2回 医療通訳の基礎2

2014年2月16日（日）15:00～17:00 筆記テスト・通訳ロールプレイ

2014年2月23日（日）10:00～15:00 第3回 通訳技術

＜募集言語＞スペイン語（募集人数：1名 研修参加者：3名）

＜講師＞重野亜久里、高嶋愛里、野中モニカ

現任通訳者

公立甲賀病院、済生会滋賀県病院、長浜赤十字病院で勤務する通訳者に対し、日ごろの業務の振り返りとスキルアップのため、研修を行った。

＜日時＞2014年2月23日（日）

＜参加者＞7名+新人研修に参加した通訳者3名 ＜講師＞野中モニカ



さぽひと

4) その他外部の依頼

件数

医療通訳関連：9件

医療者・医療系学生向け研修：8件

人権・多文化共生関連：3件

まとめ（外部からの依頼について）

医療通訳研修は昨年と変わりはないが、医療者・医療系学生向け研修の依頼が少し増えている。医療従事者の間で、外国人の対応についての興味関心が少しずつ高まっているようだ。一方、医療通訳研修については、多くは中国帰国者支援団体や外国人集住地区の依頼が多く、一般のボランティア通訳向け研修は減っている。医療通訳研修を行う団体については、需要のあるところ、対象者が明確なところにしてもらっているようだ。（前田）



さぽひと

依頼一覧

医療通訳関連

- ・医療通訳セミナー（公財）静岡県国際交流協会 3/2
- ・平成25年医療通訳基礎研修（財）自治体国際化協会、全国市町村国際文化研修所 2/28
- ・公財）新潟県国際交流協会 外国籍住民の医療支援を考えるセミナー 2/23
- ・聖路加看護大学 外国人患者への対応に関する基礎知識&外国人妊産褥婦への支援について 1/31
- ・箕面市人権文化部 外国人市民への保健・医療サポートセミナー2014 2014/1/21
- ・大阪YWCA 医療通訳研修会 2014/1/7, 2/4
- ・名城大学 医療通訳基礎 12/7、8
- ・岐阜県国際交流センター 医療通訳基礎講座 12/1
- ・中国・四国中国帰国者支援交流センター 医療通訳研修会 8/2
- ・東海北陸中国帰国者支援・交流センター 医療通訳基礎・実践講座 7/22
- ・医療通訳フォーラム2013 in かながわ 7/13
- ・三重県国際交流財団 医療通訳コーディネーター研修 6/3

医療者・医療系学生向け研修

- ・聖路加看護大学 看護師が知っておきたい外国人患者対応に関する基礎知識と外国人妊産褥婦への支援のポイント 1/31
- ・京都橘大学 国際看護学I 11/21
- ・京都大学医学部附属病院 英語が話せるask me!ナース養成講座 10/18-2/28
- ・千里金蘭大学看護学科 9/11
- ・神戸市医師会看護専門学校 9/9
- ・京都橘大学看護学部 6/14、18、25

人権・多文化共生関連

- ・一財）岡山県国際交流協会 2014/2/13
- ・淡路市教育委員会 淡路市人権学習交流会 8/22
- ・京都市内の中学校 7/10



ぷち通訳

1) システムの運用

- ・多言語医療受付支援システムM3 (windows, android)
- ・ナースのためのぷち通訳 (android)
- ・多言語問診システムM3 (iOS, android, web)
- ・多言語科目問診Tack Pad (iOS) など

2) 知識・言語グリッドに基づくアジア医療交流支援システムの研究開発 (2011年～)

外国人居住者や訪日外国人が医療機関を利用する機会の増加する中、独) 情報通信研究機構 (NICT) の協力の下、株) NECと奈良先端科学技術大学院大学が中心となり、医療現場で役立つ通訳支援端末の開発研究を行っています。センターもこの研究に参加しています



ぷち通訳

3) 滋賀県多言語医療通訳ネットワーク システム・アプリの導入

昨年に引き続き、多言語医療受付支援システムM3(android)、ナースのためのぷち通訳（android）、ビデオ電話通訳システム（youtran）を設置。新たなシステムの導入はなかったため、今年度は保守のみだった。

まとめ

2011年から始まったこの滋賀県の事業は2013年が最終年度であった。この事業でのセンターの役割は、研修やアプリの設置と、部分のみであるため、もう少し関わりたい、という思いはあるが、滋賀の医療通訳の状況、外国人の状況をこの事業を通じて学ぶことは大きい。

来年度、引き続き通訳者を雇用するのは、3つの病院のうち、2つだけであるが、今後、滋賀県に医療通訳が広まるきっかけになっていったら、と思っている。（前田）



翻訳

1) 件数

依頼者数：49件（のべ113）

＜内訳＞

各種証明書：27件

医療関連：9件

行政・学校関連：4件

その他：9件

＜言語別＞

英語 49件 中国語 29件

韓国語 7件 ポルトガル語 15件

スペイン語 4件 フィリピン語 4件

ドイツ語 1件 タイ語 1件

インドネシア語 3件

2) まとめ

今年は証明書の翻訳が非常に多い年だったが、一部スタッフ内で翻訳業務が完結できるようになったため、素早く確実に処理することができた。今後はよく依頼のある書類の翻訳のテンプレートを整備し、より確実に早く処理できるようにしたい。（前田）



調査・研究、メディア他

1) 調査・研究

- ・ スイス連邦における医療機関の通訳利用とその効果
第28回びわ湖国際医療フォーラム (2014/1/25)
- ・ 「医療通訳士という仕事」-言葉と文化の壁をこえて- 大阪大学出版社
- ・ 効果的な医療通訳者育成プログラムの開発とその評価
第27回びわ湖国際医療フォーラム (2013/7/7)
- ・ 看護師を対象とした医療現場での多言語支援ツール活用セミナーの効果と評価
第27回びわ湖国際医療フォーラム (2013/7/7)

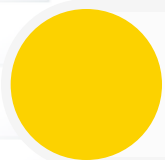
2) メディア

◆医療通訳関連

- ・ 医療通訳普及へ仕組みづくり始動 朝日新聞 北海道版 3/17
- ・ 「外国人に医療通訳」 読売新聞 (しが県民情報) 2/4
- ・ 「医療通訳育成後押し」 読売新聞 (夕刊) 2014/1/8
- ・ 外国人患者 こう接して 京都新聞 8/23

◆ICT関連

- ・ 笑福亭晃瓶のほっかほかラジオ 9/6
- ・ The Language Grid Toru Ishida Springer



ぐるさぽ

在日外国人医療、国際保健医療に関心のある多職種の医療職者が自由に集まり、情報交換ができる場所の提供を行います。

内容

- ・外国人医療カンファレンスを開催（月1回開催）

全 回実施

※遠隔地のメンバーはSKYPEを利用して参加



法人・事務局

1) ニュースレター

多文化共生センターきょうとの会員の方へむけてセンターの今の活動を知ってもらうとともに、注目の話題や調査研究などを特集記事として掲載しました。

・2013年4月（事業報告・会計・事業計画・予算）、2013年7月、2013年1月

2) 2013年度職員体制

重野亜久里、前田華奈

高嶋愛里、久我口昌子（～10月まで）

胡怡紅（～2月まで）、横山志都子（2月から～）

3) その他

・4月20日、25日に多文化共生センターきょうとにて業務監査・会計監査を行い、修正が必要な部分については修正、確認を行いました。

方法：「NPO法人の監事の監査チェックリスト」

（NPO法人NPO会計税務専門家ネットワーク 作成）

・著作権保護などのため、2013年9月より株）多文化らぼを設立、商品販売事業と著作物等の知財を全てらぼに移行しました。

2013年度 特定非営利活動に係る収支計算書

2014年3月31日現在



決算

科 目		金 額	
(経常収益)			
I 経常収益			
1 受取会費	53,000	53,000	
2 事業収益			
物販事業	505,444		
医療通訳派遣事業	3,297,136		
ICTを利用した多言語支援事業	2,701,876		
研修事業	1,708,811		
翻訳事業	2,386,944		
		10,600,211	
3 寄付金及びその他収益			
受取寄付金	122,539		
助成金	-		
その他収益	1,275		
		123,814	
経常収入合計(A)			10,777,025
II 事業費			
1 事業費			
物販事業	838,606		
医療通訳派遣事業	2,766,516		
ICTを利用した多言語支援事業	3,217,303		
研修事業	2,093,308		
多文化翻訳事業	2,440,662		
		11,356,395	
III 管理費			
給与手当	600,000		
法定福利	987,641		
通信費	100,683		
荷造運賃	4,320		
旅費交通費	57,750		
会議費	-		
事務用消耗品	28,661		
印刷経費	1,329		
地代家賃	703,038		
保険料	15,440		
租税公課	644,706		
雑費	-		
支払手数料	2,316		
水道光熱費	48,466		
管理諸費(11年度3月期法人市民税)	80,000		
		3,274,350	
経常支出合計(B)			14,630,745
経常収支差額(A)－(B)			-3,853,720
(正味財産増減の部)			
I 正味財産増加の部			
1 当期収支差額	-3,853,720	-3,853,720	
II 正味財産減少の部	-		
前期繰越正味財産額		8,241,419	
当期正味財産合計			4,387,699

2013年度 特定非営利活動に係る貸借対照表

2014年3月31日現在

特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと

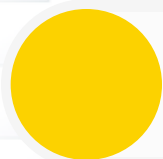
科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	99,413		
普通預金	26,450,609		
売掛金	2,209,328		
前払金	34,850		
立替金	127,306		
流動資産合計		28,921,506	
2 固定資産			
敷金保証金	210,000		
固定資産合計		210,000	
資産合計			29,131,506
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,609,707		
前受金	23,025,000		
預り金	39,800		
流動負債合計		24,674,507	
2 固定負債			
預り保証金	69,300		
固定負債合計		69,300	
負債合計			24,743,807
III 正味財産の部			
正味財産		4,387,699	
(うち当期正味財産増加額)		-3,853,720	
正味財産合計			4,387,699
負債及び正味財産合計			29,131,506

2013年度 特定非営利活動に係る事業会計財産目録

2014年3月31日現在

特定非営利活動法人 多文化共生センターきょうと

科 目 ・ 摘 要	金 額		
I 資産の部			
1 流動資産			
現金	99,413		
普通預金			
京都銀行 河原町支店	0		
ゆうちょ銀行(振込口座)	8,280		
京都銀行 本店営業部	25,176,738		
ゆうちょ銀行(普通)	1,265,591		
現金・預金 計	26,550,022		
売掛金	2,209,328		
前払金	34,850		
立替金	127,306		
流動資産合計		28,921,506	
2 固定資産			
敷金保証金	210,000		
固定資産合計		210,000	
資産合計			29,131,506
II 負債の部			
1 流動負債			
未払金	1,609,707		
前受金	23,025,000		
預り金	39,800		
流動負債合計		24,674,507	
2 固定負債			
預り保証金	69,300		
固定負債合計		69,300	
負債合計		24,743,807	
正味財産合計			4,387,699



理事・監事の選任

2014～2015年度理事、監事について

理事長：重野 亜久里

理事：

石田 亨（京都大学大学院情報学研究科社会情報学専攻教授）

井田 健（公立甲賀病院顧問、びわ湖国際医療フォーラム代表）

野中 モニカ（ポルトガル語翻訳、司法通訳、通訳案内士）

高嶋 愛里（看護師・保健師 医療通訳コーディネイター）

朴 君愛（一財）アジア・太平洋人権情報センター(ヒューライツ大阪)上席研究員)

深尾 昌峰（公益財団法人 京都地域創造基金理事長 龍谷大学法学部教員

NPO法人きょうとNPOセンター 常務理事）

山本・アナ・クリスチーナ・アケミ（兵庫県立西宮香風高校特別非常勤講師、

パナソニック・エクセルインターナショナル株）ポルトガル語講師）

監事：

小池 嘉紀（社会保険労務士）

加川 裕介